行田市議会議員

令和8年9月　活動報告 第14号　討議資料

小野寺（おのでら）たかお





宿弊打破

プロフィール

- 1971年11月23日生まれ　54歳
- 出身地：宮城県気仙沼市大島
- 最終学歴：東海大学 日本史専攻
- 職歴：営業職18年間、社会保険労務士5年間、議員秘書4年間
- 令和5年4月 行田市議会議員に初当選
- 趣味：ジョギング、ソフトバレー、ソフトボール
- 好きな動物：猫
- 座右の銘：雨だれ石をうがつ

公式HP・SNS

公式HP

onodera_takao

takao.onodera.39

私の日々の朝活

平日の朝は次の場所で朝の街頭活動、いわゆる朝活を継続しております。

姿や行動が見える政治家でありたいと思いますので、体力が続く限り継続します。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
JR 吹上駅	JR 行田駅	北小学校 北側	埼玉・片原	南河原二区・在家

令和8年9月定例会 一般質問要点

公園について

「公園を減らす」のではなく、地域で役割を分担する公園へ



市内には、子どもの遊び場や地域住民の憩いの場として役割を果たしてきた小規模公園が数多くあります。

一方で、少子高齢化や人口減少により、利用状況は変化しています。利用が少ない公園でも、草刈りや樹木管理、遊具の点検・修繕などの維持管理は必要です。

また、これまで自治会などが担ってきた管理が難しくなり、市が直接管理する公園もあります。

今後すべての公園を一律に維持するのではなく、地域全体で公園のあり方を考えていく必要があります。

私は、公園を単純に減らすのではなく、周辺の公園との関係や利用状況などを踏まえ、それぞれの公園が担う役割を考える「公園再編」を提案しました。

なぜ、公園の再編が必要なのか？

利用者の減少

子どもの数の減少などにより、利用状況が変化

管理の負担

草刈り・樹木管理・遊具の点検など、維持管理や経費の負担

地域のニーズの変化

年齢構成や暮らしの変化に合わせ、公園の役割を見直す必要

公園の「これから」を考える

地域の公園を、
地域全体で考える

役割を分担する公園再編



私が市に提案したこと

❶「公園カルテ」を作成

利用状況や維持管理費、設備などを整理し、公園ごとの現状を見える化する。

❷モデル地区での試行

低利用公園が集まる地域をモデル地区とし、再編の効果や課題を検証する。

❸必要な公園機能を見直す

不要となった公園の売却収入を基金化して維持・更新費用に充てる仕組みも視野に入れる。

❹市民と一緒に考える

アンケートやワークショップを通じ、地域の声を取り入れながら将来像を検討する。

動植物による被害について

野生動物による被害を「見える化」し、対策へ

タヌキやハクビシンなどによる農作物被害や生活被害は、相談件数だけでは実態を把握しにくい場合があります。

写真・位置情報とともに市民から情報を集め、被害の種類や発生場所を記録することで、地域ごとの実態を把握し、今後の対策や捕獲の必要性を検討する資料につなげます。

市民から情報 ▶ 写真・位置情報 ▶ 被害を分類 ▶ マップで集約 ▶ 実態把握・対策へ



アライグマについて

住宅侵入への対策も

アライグマ等が住宅に侵入した場合、捕獲・処分だけでなく、ふん尿の清掃・消毒や侵入口の封鎖など、再発防止にかかる費用を補助する制度についても検討を求めました。

保護樹木について

行田の巨木・名木を、次の世代へ

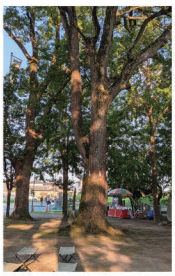
市内には、佐間天神社や星河地区の春日神社など、地域の歴史を感じさせる巨木があります。こうした樹木は行田の大切な地域資源である一方、維持管理には労力や費用も必要です。

そこで、文化財とは別に、地域で大切にされている樹木を守る仕組みを提案しました。市民から保存候補を募り、「巨木・名木台帳」や公開マップなどで、行田の巨木・名木を見える化する取り組みを求めました。



鴻神社(看板)


鴻神社


春日神社


佐間天神社